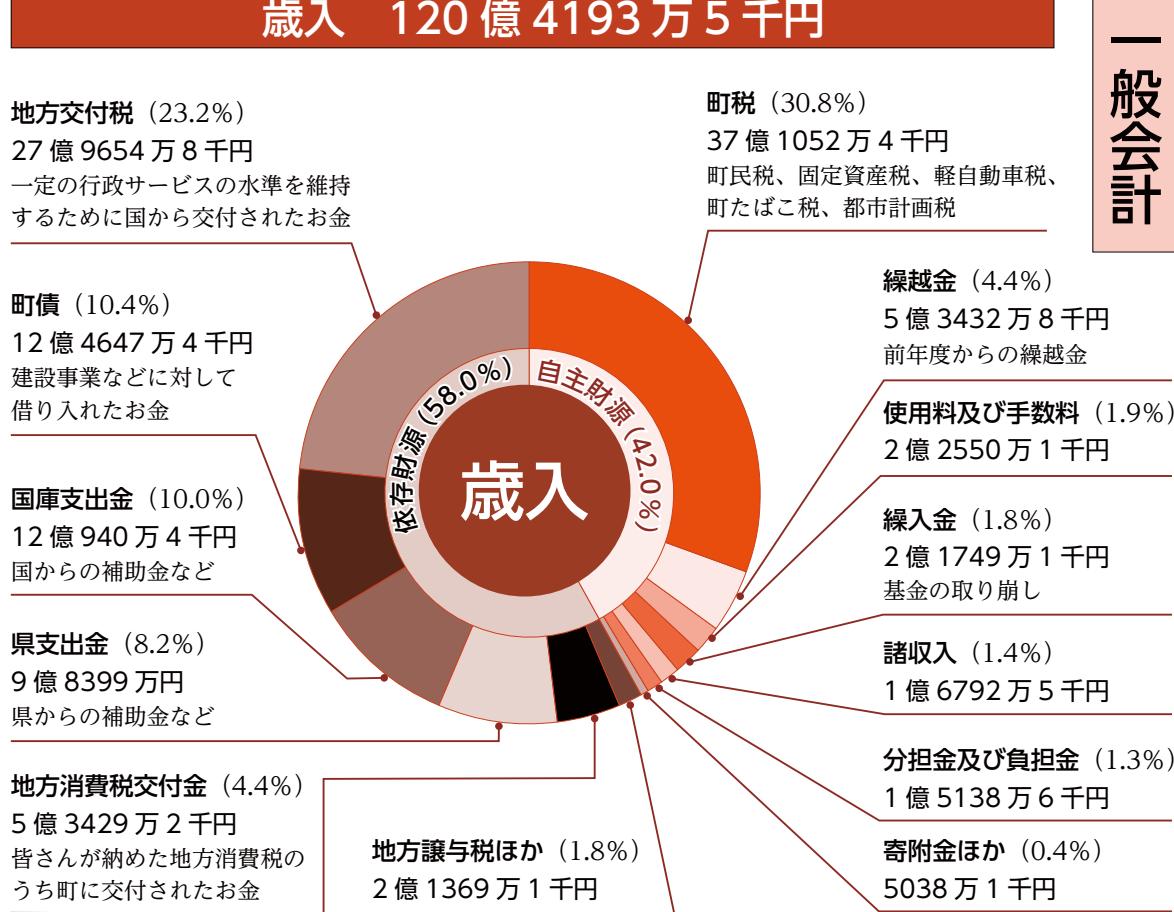


平成30年度

決算

一般会計



平成30年度会計別決算

(▲はマイナスを表す)

一般会計・特別会計

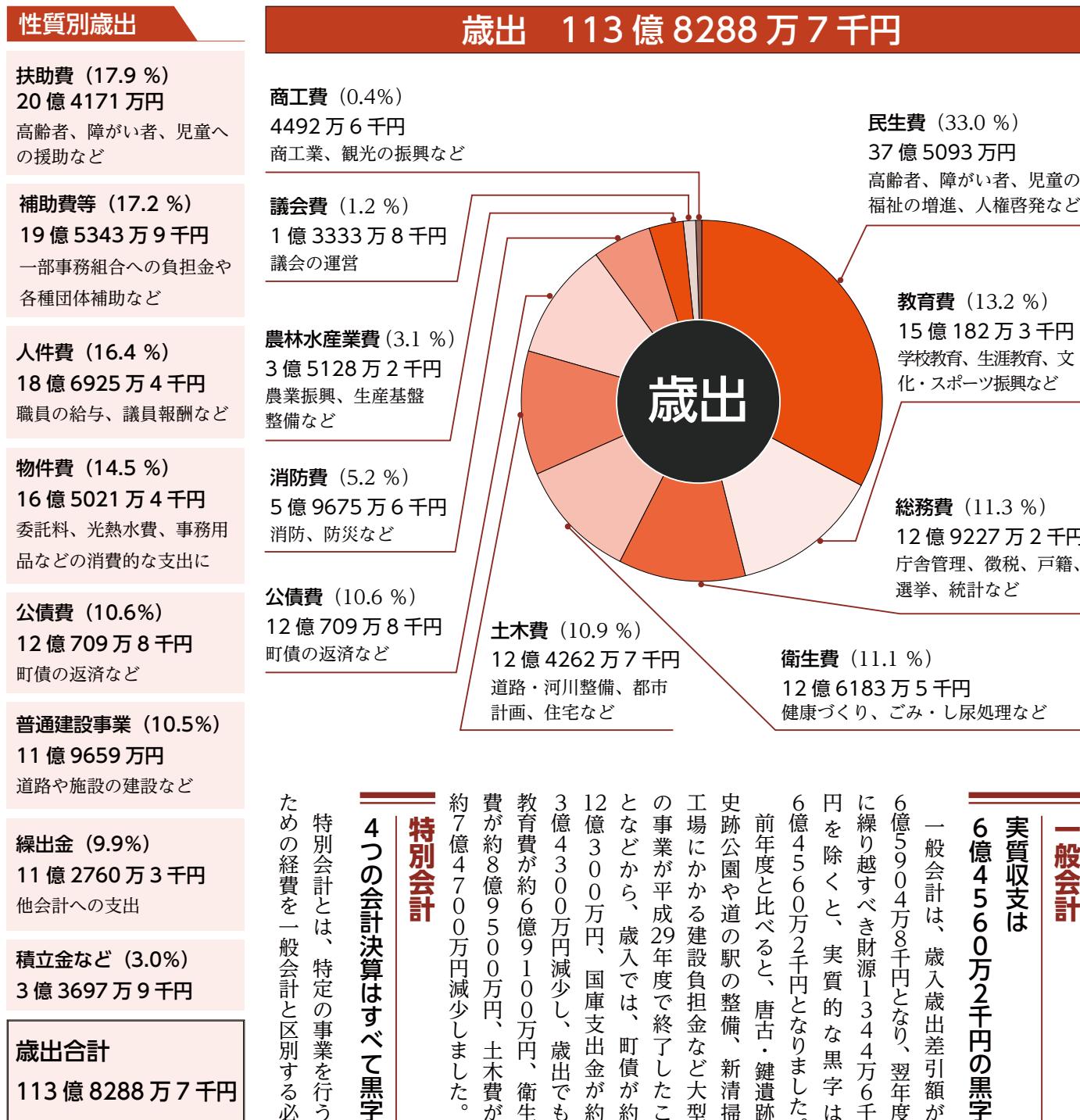
会計名	歳入額	歳出額	差引額
一般会計	120億4193万5千円	113億8288万7千円	6億5904万8千円
特別会計	国民健康保険 特別会計	39億1807万9千円	32億5879万8千円
	後期高齢者医療 特別会計	4億9162万9千円	4億8220万8千円
	介護保険特別会計	29億5375万円	27億9460万4千円
	磯城郡介護認定審 査会共同設置特別 会計	1366万1千円	1215万2千円
			150万9千円

企業会計

会計名	収入額	支出額	差引額
水道事業 会計	収益的収入及び 支出	8億6729万6千円	8億9879万円
	資本的収入及び 支出	1億8188万6千円	▲1億3201万8千円
下水道事 業会計	収益的収入及び 支出	11億2009万7千円	10億6670万8千円
	資本的収入及び 支出	7億3136万2千円	▲2億9031万8千円

平成30年度の決算が、町議会第3回定例会で認定されました。皆さ
んに納めていただきいた大切な税金などが住みよいまちづくりにどうのよ
うに使われたのか、その概要を紹介します。

平成 30 年度決算



要がある場合に設置する会計で、4つの特別会計の決算額は右表のとおりです。

水道事業会計

収益的収支は **3931万5千円の赤字**

独立採算で運営を行う公営企業に水道事業があります。決算額は右表のとおりです。収益的収支は、県営水道100%転換となり受水量が増えたことなどから、損益計算による当年度純損失が3931万5千円生じ赤字決算となりました。なお、資本的収支は1億3201万8千円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金や積立金などで補填しました。

下水道事業は、平成30年度から地方公営企業法の財務規定等を適用した公営企業会計に移行しました。決算額は右表のとおりです。収益的収支は損益計算による当年度純利益がなりました。なお、資本的収支は2億9031万8千円の不足が生じたため、損益勘定留保資金などで補

まちの将来像～子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと～ の実現に向けて

平成30年度実施事業の紹介

1 子育ての願いをかなえるまちづくり

中学校給食施設等建設事業

1億1261万2千円（平成30年度決算額）

平成30年度・令和元年度の2カ年事業



北中学校給食棟

田原本中学校給食棟

待機児童を解消するため、特にニーズの多い0歳児から2歳児の保育の受け皿として、小規模保育事業所を募集し、整備に対する補助を行い、今年4月に田原本すこやか保育園、さわやか保育園が開園しました。

2 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり

地域包括支援センター事業（高齢者施策）

4338万3千円

高齢者の皆さんのがいきいきと住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、介護・福祉・健康・医療など、さまざまなサービスを実施しました。

3 潤いや喜びを与える遊びとスポーツのまちづくり

唐古・鍵遺跡史跡公園の運営

1億1773万2千円

園舎の耐震補強工事及び老朽改修工事を実施し、園児の安全の確保及び保育環境の改善を図りました。また、平野幼稚園は平成31年4月より3歳児から5歳児の保育認定の子どもが通える幼稚園型の認定こども園としてスタートしました。



一般下水路事業

8822万円

内水被害を減らすための治水対策として、西竹田地区の雨水調整池整

4 安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

道路新設改良事業

2億5698万2千円

国道24号、国道24号バイパス線、主要県道などの近隣の地方道や広域道路ネットワークに連携した機能的な道路網の構築を図るため、唐古西代線や十六面黒田線などの道路改良工事を行いました。

タカラモントンタクシー利用料金助成事業

1653万6千円

高齢者などの移動手段の確保と利便性の向上を目的として、一般タクシーの初乗り運賃相当額を助成するタカラモントンタクシーの運行を開始しました。

5 脳わいと活力あふれるまちづくり

農業基盤対策事業

2億2073万6千円

良好な田園の維持と効率的な農業の推進を図るため、農道やため池の整備などを行いました。

企業等の誘致・立地推進事業

241万4千円

産業の基盤強化と発展及び雇用の創出を図るために、町内に立地する企業の支援を行いました。

6 住民とともに実現するまちづくり

ふるさと応援寄附金推進事業

1545万2千円

特典商品の拡充による、地域事業者の販路拡大などを行い、地域産業の活性化や町のPRを推進しました。

園内に弥生時代の風景を再現するARアプリを開発しました。

中央体育館広場遊具設置事業

797万円

中央体育館敷地内の広場にある老朽化した遊具を撤去し、新たな遊具を設置しました。

水仙会館解体・防火水槽設置事業

5183万6千円

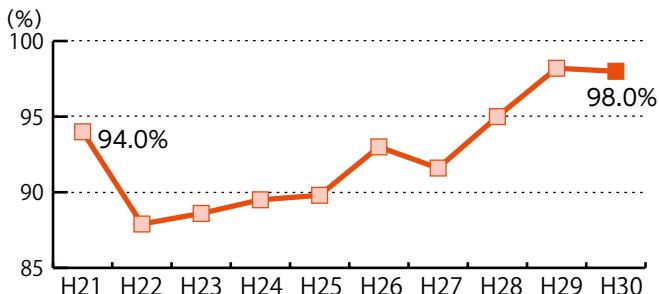
水仙会館を解体し、新たに防火水槽を設置しました。

備工事や、西竹田地区や小阪地区などで、河川の増水時に支流への逆流を防止するための樋門設置工事などを进行了。

指標でみる財政状況

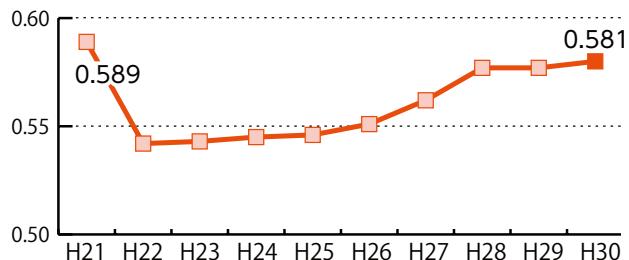
経常収支比率 98.0%

財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が人件費や公債費などの経常経費にどれくらい充てられているかを表しています。平成 30 年度は、地方消費税交付金などの歳入が増加したことなどから、前年度に比べ 0.2 ポイント下がりました。



財政力指数 0.581

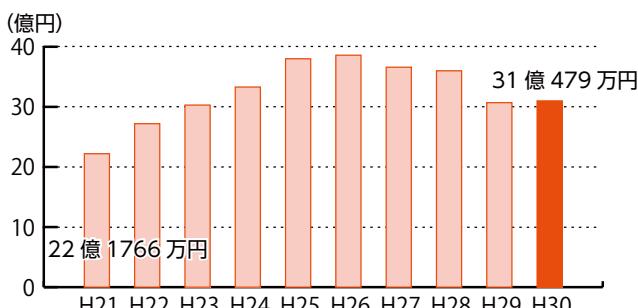
標準的な行政経費に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があることを示します。



基金残高 31 億 478 万 8 千円

普通会計には、純粋な貯蓄といえる財政調整基金や減債基金、また、特定目的のための福祉基金・ふるさと応援基金があります。

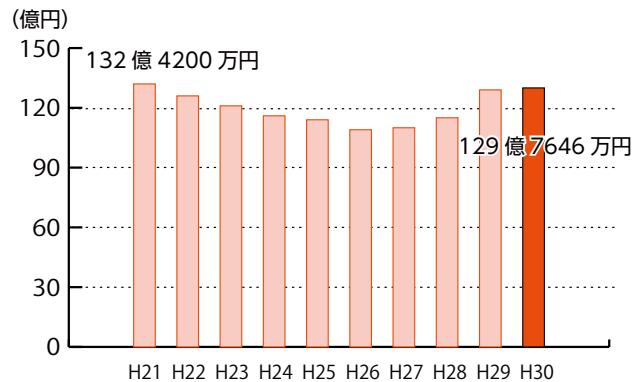
平成 30 年度は、新ごみ処理施設整備に係る町債の返済のために交付された県補助金約 2 億 200 万円を今後に活用するため減債基金に積み立てたほか、財政調整基金を約 1 億 6600 万円取り崩したことなどから、基金全体では前年度に比べ約 3600 万円増加しました。



※普通会計とは、一般会計と特別会計のうち該当するものを合わせた会計で、本町では平成 30 年度は一般会計のみです。

町債残高 129 億 7645 万 7 千円

普通会計の町債残高は平成 16 年度をピークに毎年減少していましたが、新清掃工場などの大型事業の実施に伴い平成 27 年度に増加に転じ、平成 30 年度についても中学校給食施設の整備や幼稚園園舎の耐震化、道路新設改良事業や清掃工場の解体などに町債を活用したことから、前年度に比べ約 1 億 400 万円増加しました。



健全化判断比率

町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標です。いずれの指標も国の基準を下回りましたので良好な状態にありますが、引き続き一層の財政健全化に取り組んでいきます。

指標	田原本町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.01%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.01%	30.00%
実質公債費比率	7.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	76.9%	350.0%	—

※赤字額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率は「—」表示となります。

用語説明

- ・ **実質赤字比率**…標準的な収入に対する普通会計の実質的な赤字の割合
- ・ **連結実質赤字比率**…標準的な収入に対する全会計の実質的な赤字の割合
- ・ **実質公債費比率**…標準的な収入に対して普通会計が負担する実質的な借入金の返済の割合
- ・ **将来負担比率**…標準的な収入に対して普通会計が将来負担すべき負債の割合

資金不足比率

地方公営企業の資金不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示すものです。水道事業会計・下水道事業会計とともに資金不足額がないため該当はなく指標上は問題ありませんでした。

特別会計名	田原本町	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

※経営健全化基準とは、早期健全化基準に相当する基準です。

※資金の不足額がないため、資金不足比率は「—」表示となります。